



CONTENTS

- 町民の税金の行方は!! 2-3
- こんなことが決まりました 4-5
- 一部事務組合より 5
- 一般質問 定例会一般質問 6-10
- 現地取材報告 11
- 議会のうごき 12
- 次回定例会 12
- たきの風 12

優良牛のセリ風景

(多気町肉牛共進会場にて)

発行:多気町議会 編集:議会広報特別委員会

住所:〒519-2181 三重県多気郡多気町相可1600

TEL:0598-38-1120

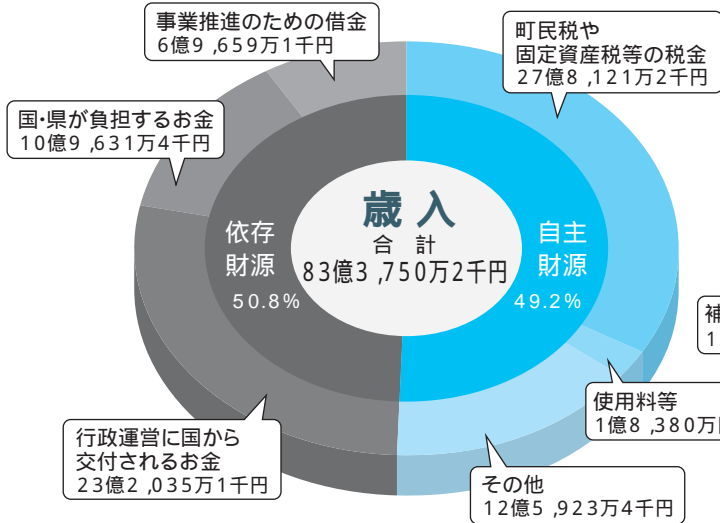
<http://www.town.taki.mie.jp/chousei/gikai.html>

いみちを審査・認定

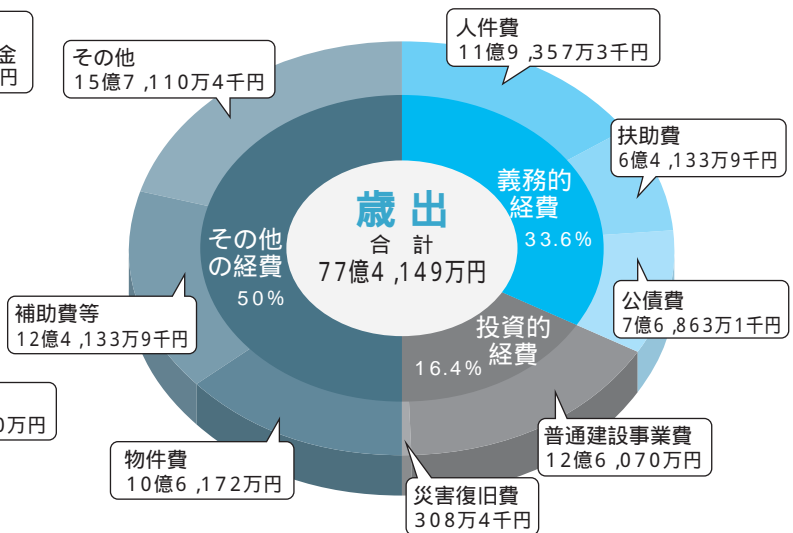
9月
定例会

9月定例会は、9月27日から10月6日まで開催され平成22年度の決算が審査されました。

一般会計歳入決算の内訳



一般会計歳出決算の内訳



歳出決算の内訳(性質別経費)は、決算統計の数字(普通会計)を使用しています。これには一般会計、住宅会計、郡指導主事会計が含まれます。従いまして、一般会計の歳出合計とは異なります。

基金(預金)

40億878万円
(+1億7,175万円)

町債(借金)

135億9,588万円
(-9,194万円)

主な歳入財源 ()内は前年比

町税 町民税や固定資産税等の税金 27億8,121万2千円 (-1億4,953万7千円)	使用料等 事業に対する地元負担金や施設の使用料など 1億8,380万円 (758万8千円)	繰入金 基金(町の貯金)の取り崩しや他会計から繰り入れるお金 4億6,788万円3千円 (-3億401万7千円)
地方交付税 行政運営に国から交付されるお金 19億3,821万3千円 (4億1,193万5千円)	国・県支出金 国県が負担するお金 10億9,631万4千円 (-4億9,483万6千円)	町債(町の借金) 主に建設事業に充てるために借り入れる借金 6億9,659万1千円 (-3,634万3千円)

用語説明

自主財源

町税、使用料、手数料、財産収入など町が自主的に調達できる財源。

依存財源

国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする収入。

義務的経費

その支出が義務付けられていて、任意に削減することが難しい経費のことをいいます。

投資的経費

道路、橋梁、学校、公園等各種社会資本整備に要するものであり、支出の効果が長期にわたる経費です。

平成22年度
決算

町民の税金の使

平成22年度一般会計 歳入(財源) 83億3,750万2千円
 歳出(使いみち) 77億1,300万5千円
 翌年度繰越金 6億2,449万7千円

主な歳出(使いみち) ()内は前年比 千円以下切りすて

<p>議会費</p> <p>6,698万円 (- 791万円)</p> <p>議会だより印刷製本費 114万円 議員報酬費 3,339万円</p>	<p>総務費</p> <p>18億7,551万円 (+ 6,249万円)</p> <p>防災行政無線整備工事費 4,859万円 企業立地奨励金 1,500万円 まちづくり拠点整備費 1,092万円 クリスタルタウン整備費 8,000万円</p>	<p>民生費</p> <p>18億9,699万円 (- 1億9,171万円)</p> <p>介護保険会計 1億8,683万円 国保会計 7,519万円 後期高齢者会計 1億8,243万円 介護基盤緊急整備等事業補助金など 1億5,040万円</p>	<p>衛生費</p> <p>5億8,499万円 (+ 4,779万円)</p> <p>ゴミ処理等費用 2億6,030万円 予防接種等委託料 2,787万円 太陽光発電補助金 1,876万円</p>
<p>農林水産業費</p> <p>3億3,780万円 (- 1,673万円)</p> <p>集落営農推進事業補助金12の集落に 1,239万円 土地改良費(古江) 500万円 林業振興(間伐測量等)宮川森林組合へ 1,199万円</p>	<p>商工費</p> <p>5,263万円 (- 3,550万円)</p> <p>商工団体育成補助金 900万円 町の祭り「ふるさとまつり」「あじさいまつり」「おひなまつり」「元丈まつり」 653万円 観光施設管理費「元丈の里」「ふれあいの館」「勢山荘」 840万円</p>	<p>土木費</p> <p>11億7,178万円 (+ 7,918万円)</p> <p>役場天啓線など 1億2,900万円 道路新設改良費 2億2,800万円 道路維持費 9,410万円 下水道事業へ 5億7,457万円</p>	<p>消防費</p> <p>3億7,223万円 (+ 3,858万円)</p> <p>松阪地区広域消防組合負担金 2億9,738万円 消防団員報酬・手当等 2,717万円</p>
<p>教育費</p> <p>6億1,373万円 (- 2億2,839万円)</p> <p>佐奈小公共下水接続 68万円 佐奈小体育館改修設計 299万円 多気町松阪市学校組合負担金 7,695万円 勢和東公民館改修 1,673万円</p>	<p>災害復旧費</p> <p>308万円 (- 1,153万円)</p> <p>災害復旧費 308万円</p>	<p>公債費</p> <p>7億3,724万円 (- 1億1,452万円)</p> <p>合併特例債償還金 1億3,582万円 臨時財政対策債償還金 1億4,468万円 利子 1億8,994万円</p>	



平成23年度会計 補正予算

	補正	議決結果	予算総額
一般会計(第2号)	1億1,854万7千円	賛成多数	68億7,687万9千円
国民健康保険特別会計(第1号)	315万1千円	賛成多数	15億9,893万8千円
一般会計(第3号)	5億2,026万7千円	全員賛成	73億9,714万6千円
国民健康保険特別会計(第2号)	8,058万2千円	全員賛成	16億7,952万円
後期高齢者医療保険特別会計(第1号)	1万1千円	全員賛成	2億9,407万3千円
介護保険特別会計(第1号)	7,208万円	全員賛成	14億9,024万5千円
農業集落排水事業特別会計(第1号)	46万6千円	全員賛成	2億1,676万2千円
戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計(第1号)	87万円	全員賛成	1億5,544万2千円
郡指導主事共同設置事業特別会計(第1号)	18万9千円	全員賛成	1,181万6千円
水道事業会計(第2号)	1,700万円	全員賛成	8億6,686万1千円
国民健康保険特別会計(第3号)	90万円	全員賛成	16億7,952万円

こんなことが決まりました

第2回臨時会 9月1日
第3回定例会 9月27日～10月6日

条例の制定

多気町一般職の任期付職員
の採用等に関する条例の制
定について

賛成多数

専門的な知識経験又は優れ
た識見を有する者を一定期
間活用する

条例の全部改正

多気町農林漁業者等健康増
進施設の設置及び管理に関
する条例

全員賛成

指定管理者制度の導入準備
多気町社会体育施設の設置
及び管理に関する条例

全員賛成

指定管理者制度の導入準備

条例の一部改正

多気町税条例の一部を改正
する条例

全員賛成

地方税法の改正に伴う、個
人町民税の寄付金税制の改
正」と、町税の申告などに
関する罰則の見直し」

多気町企業立地促進条例の
一部を改正する条例

全員賛成

対象業種の追加と交付要件
の緩和

町道の変更

3141号(野中)
3166号(野中)
3175号(野中)

全員賛成

「経営体育成事業」(パイプ
ライン及び農道整備)のため

町道認定路線の廃止

2053号(兄国)
2054号(兄国)
2055号(兄国)
2062号(兄国)
2065号(兄国)
2530号(兄国)
2531号(兄国)
3157号(野中)
3174号(野中)
3374号(野中)

全員賛成

「経営体育成事業」(パイプ
ライン及び農道整備)のため

工事請負契約の 締結について

平成23年度児童館整備事業
児童館建設工事
請負業者（株）田村建設
契約金額
1億1598万3千円
全員賛成

平成22年度（繰越）小規模
作業所整備事業小規模作
業所建設工事
請負業者 丸亀産業（株）
請負金額
4621万1千円
全員賛成

報告

平成22年度決算に基づく
健全化判断比率の報告
平成22年度決算に基づく
資金不足比率の報告

請願

「教職員定数改善計画」の
着実な実施と教育予算拡
充を求める請願書

全員賛成

義務教育費国庫負担制度の
存続と全額国負担を求める
請願書

賛成多数

保護者負担の軽減と就学
修学支援に関わる制度の
拡充を求める請願書

全員賛成

防災対策の見直しをはじめ
とした総合的な学校安全対
策の充実を求める請願書

全員賛成

平成22年度 決算の認定

一般会計歳入歳出決算の
認定

全員賛成

国民健康保険特別会計歳入
歳出決算の認定

全員賛成

老人保健特別会計特別会計
歳入歳出決算の認定

全員賛成

後期高齢者医療保険特別会
計歳入歳出決算の認定

全員賛成

介護保険特別会計歳入歳出
決算の認定

全員賛成

住宅新築資金等貸付特別会
計歳入歳出決算の認定

全員賛成

農業集落排水事業特別会計
歳入歳出決算の認定

全員賛成

個別合併処理浄化槽整備事
業特別会計歳入歳出決算の
認定

全員賛成

郡指導主事共同設置事業特
別会計歳入歳出決算の認定

全員賛成

水道事業会計収入支出決算
の認定

全員賛成

工業用水道事業会計収入支
出決算の認定

全員賛成

下水道事業会計収入支出
決算の認定

全員賛成

一部事務組合より

松阪地区広域消防組合

第3回臨時会

議長選挙

平成22年度決算認定
育児休業等に関する
条例の一部改正

議長選挙

監査委員選任

平成22年度決算認定

平成23年度農作物無事
戻し金交付

平成23年度特別積立金
取り崩し

平成23年度補正予算

（第2号）

松阪地区広域衛生組合

第3回臨時会

議長選挙

平成22年度決算認定

監査委員選出

多気町松阪市学校組合

第2回定例会

副議長選挙

議長選挙

議員選挙

監査委員選任

教育委員会委員任命

平成22年度決算認定

平成23年度補正予算

（第1号）

香肌奥伊勢資源化 広域連合

第2回定例会

副議長選挙

監査委員選任

平成22年度決算認定

平成23年度補正予算

（第1号）

多気学校給食 センター管理組合

第2回定例会

副議長選挙

教育委員会委員任命

平成22年度決算認定

平成23年度補正予算

松阪飯多農業共済 事務組合

第2回定例会

議長選挙

農業共済条例の一部改正

はい!!

質問

第3回定例会 10人が一般質問

人口減少の危機

答 厳しい中でも企業誘致や起業を進める

問 当町人口が過去5年間で500人余り減少し危惧する。

まず、町長は「活力ある賑わいのある町」の考えで、造成を進めているクリスタル工業ゾーン及びそこへの企業誘致の進捗状況はどうか。

今後、人口減少に對しどのように取り組むのか。当町に新しく住んでもらうため「住宅新築相談窓口」のような行政担当を設ける考えはないか。

答

(町長) 誘致は、世界情勢、東日本大震災等、非常に難しいが、急な企業誘致に間に合うよう現在、荒造成(土取り)を行い、調整池部分の用地買収を進



クリスタルの造成地 工業ゾーン

前川 勝議員

人口減の取組みとして子育て・教育に對し負担を増やさない。保育施設の充実、育児施設の改善等が大事と思っている。

今後も政策的に、企業誘致や起業を進める。そして更に観光事業に力を入れ、町に来てもらいやすい環境整備をしてからの、窓口の設置が意義あるものにならざると思つ。

猪・鹿・猿で大被害

答 猟友会等関係者と相談

問

猪有害獣捕獲で、日の出前及び日没後の銃猟の規制緩和と新聞報道がされたが、町長の考えはどうか。新しく獣害の発生が見られる地域への対応を伺う。

答

(町長) 町で銃猟について決められないが、前向きに猟友会等関係者と相談し進めたい。

答

(産業環境課長) 鳥獣害防除施設設置補助金など利用し、対策を行って頂きたい。町では、鳥獣害対策実施隊(猟友会会員)の実施を行っている。また、駆除については、区長を通じ連絡があれば猟友会での対応を、お願いしている。

環境行政執行体制の在り方と一般廃棄物収集業務委託

答 産業と環境の一体化で、事案の発生時に対応できる

問

町は、今回の組織再編で環境課を廃止し、「産業環境課」とした。独立の二課を廃止したことは町民サイドから見れば、環境対策の停滞や後退の印象がある。今回の業務体制の変更はどんな根拠か

答

(町長) 農業・環境・観光は直接住民と接する項目であり、例えば糞尿公害や鳥インフルエンザなど防疫対策、食品廃棄物、リサイクル関連も産業と環境の部署が横断的に対応する。多くの事案が発生したとき多くの職員が対応できる。

中森 一秀議員

問

一般廃棄物収集の外部委託は、昭和52年頃から現在まで継続して、競争入札しない随意契約が採用されているが、今後の発注方法と委託契約の在り方を変更する考えはないか。

答

(町長) 確かに当時から現在まで収集業者を専業で毎年度随契で委託契約している。メリットもあるが価格競争が行われない点はデメリットであるので、今後検討会を設け協議しながら早々に方向を見い出していく。

問

町の防災計画の見直しとデジタル戸別防災無線の導入設置計画の進捗状況は。

答

(総務課長) 地域防災計画の改正は、現在県で「緊急地震対策行動計画」を策定中でありこの計画の方向性、県地域防災計画の改正の動向を反映させながら「町防災計画」を改正する。具体的には避難所指定の見直し、運営の見直し、災害時の要援護者対策の見直しをしていく。

屋外行政無線は、以前から住民の皆さんから「聞こえにくい」との声が多い。戸別屋内受信機は屋外無線を補完するものと捉え、公約通り実施する。受益者負担などを整理し、平成24年度当初予算で対応する。

「勢和ふるさとまつり」の存続を求める声が多いが

答 地域の皆さんの主体で取り組んで欲しい

問

合併協議で協議された多気町の二大祭りである「勢和ふるさとまつり」が来年から廃止されるとの唐突な新聞報道であるが存続を求める声が多くある。至った経緯と今後どのようにしていくのか。

答

(産業環境課長) 現在、この祭りは観光協会と町職員が主体で運営しており祭りの主旨から離れてきた。観光協会の役員会で二回検討され24年度以降は開催しないとの決定となり勢和地域の区長会で説明をした。

答

(町長) 私も祭りに参加さ

うに議論されたのか。

答

(町長) 年に24、25日の利用であるプールを温水化し効率よく町民全体で使い、財政効果と高齢者等健康施設としても使っていく。

答

(企画調整課長) 基本施設費は2億5千万円で設備等により変わる。公設民営としランニングコストの試算は30年間で学校プールより1億数千円安くなる。運営は指定管理を考えている。

答

(企画調整課長) 学校プール四校一元化の温水プールで町民の医療費増を抑えたい。

問

小学校のプールを廃止し役場周辺に温水プールの計画を聞いた。子供や学校に負担をかけ、また、建設費のほか、維持管理費のいる施設であり、建設・運営をどのように考えているか。また、教育委員会ではどのよ

「町営の温水プール整備」の報道記事について

答 水泳を通じ心身ともに元気な子供の育成や住民の生活習慣病などの予防と健康の増進を図るための整備

問

去る7月初め頃、ある新聞の記事が目が止まった。町が温水プールを建設するとの記事であった。町内小学校のプールの老朽化に伴う改修の話は以前から聞いていたが、温水を使ったプールの整備計画案は初めてのことで、唐突な話と感じたのである。記事によれば多気地域四校すべての改修に要する金額は合計約5億6千万円以上、年間の維持経費も各校数百万円必要とのこと。そして学校の授業や地区水泳の利用日数が少ないこと等が理由であると書かれていた。この温水プール建設計画案はもつと時間をかけ

中西 眞喜子 議員

て検討する必要があると思うがどうか。また、現場の実情や先生活方の事情や意見はどうなのか。利用方法、運営方法等の点についても伺いたい。

答

(企画調整課長) まず水泳を通して心身ともに元気な子供たちを育成すること。そして成人の皆さんの生活習慣病の解消など健康増進に利用できることを構想にしている。ほか、景気が低迷する中で、町の財政面は厳しいものがある。四校すべてのプールを改築する場合は、おおよそ1億数千円くらい余分に経費がかかる試算であり運営面は、公設

答

(教育長) この温水プールの建設については総合的に判断する必要がある。教職員からは学校現場の意見をまとめた意見書が来ている。さらに各学校を巡回し意見を聞いている。

主な意見では、温水プールは天候に左右されないで水泳授業ができることや教職員が機械や水質管理をする必要がないこと等が良い点である。ただ多くの意見は、学校水泳は学校のプールで行いたいと言うのが強い意見である。問題点としては、バス移動が子供たちに負担がかかることや窮屈な時間割を組まなければならないとか水泳指導の点が不透明なこと等が挙げられるほか、町財政にしわ寄せがいかないか心配する意見もある。

町政運営の長期計画をどのようにしていくのか

答 7つの公約に基づき違えないような形で進める

問 現在地方分権、地域内分権が最優先課題であり。来年度に向けての方針はまた、行財政改革審議会や特命監の今後。

そして行財政改革、長期計画を住民に示していくのか。

法律の改正により、基本構想の策定手続きを町に委ねられるが、どのように考えているか。

答

(町長)

住民の皆さんや学校・企業・団体などと連携し、意見を聞き進めている。また、庁内では業務改善プロジェクトを立ち上げ、改善を行なっているが行革特命監設置は考えてない。総合基本構想については議

吉田 勝議員

決案件ではなく、行動計画・財政計画・実施計画は議会に説明する。長期計画については、社会情勢の変化が激しい中、現状を見ながら新しい形で進めたい。

学童保育の安全と学校水泳教育の議論はあったのか

答 学童保育の、安全管理やメンタル面には充分配慮し対応していく。水泳教育については教育委員会・校長会で議論し、視察した

問

一元化される学童保育で、精神面など学童の気持ちになつて議論があつたのか。また、放課後の迎えからは町の責務となるが、安全・安心はど

のように考えているか。

現在各学校では教育施設としてのプールがあるが、学習指導要領を多気町方式で変えられるのか。

プール廃止を庁内でどのような議論をしたのか。

答

(町民福祉課長)

メンタル面では専門の指導員・児童厚生員・保育士で場合によっては心理士を交え対応していく。また、学校が終わり待ち時間からは町の責任になる。充分配慮していく。

答

(教育長)

学校では教育活動を学習指導要領に基づき行なっていて、町の事情で変わるものではない。各学校にプールは必要であり、ある意味苦渋の選択である。

その他の質問

バイオマスエネルギー(生物資源)への町の取り組みについて

東日本大震災支援活動を町防災に役立てる考え方を

答 支援体験を十分活用していく

問

世界中を震撼させた東日本大震災から今でも被災者は通常の生活に戻れずにいる。しかしながら、自分たち残った者が頑張るんだと、復興に向けて立ち上がるその方たちの支援に、町職員も議員も派遣された。

現地で見聞きした人しか判らないことや、防災の大切さ、人命の尊厳など、身をもって感じられたことと思う。我々の地域も三連動地震が近い間に発生すると言われている今日、これからの町防災、自主防災の在り方等の体験講演会を行い、町の防災の一助になることが必要だと思つて。考

小林 正夫議員

えを聞きたい。

答

(総務税務課長)

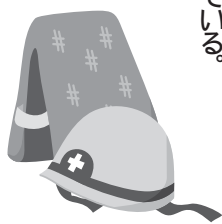
職員支援団関係の報告は、4月12日、5月23日まで、役場本庁舎、ふるさと交流館

とき、勢和図書館において巡回展示し、地震防災にかかる啓発を行った。5月25日、6月20日まで、マックスハリユ多気店においても展示を行い、併せて住宅の耐震化、家具の固定啓発展示やパンフレット陳列も実施した。7月17日には、多気町民文化会館にて、東日本大震災からの教訓、地震から身を守る方法と自分たちの地域は自分たちが守る方法」と題して、多気

町地震防災講演会を開催し、住民の多数の参加をえた。さらに9月11日には総合防災訓練で、津地方気象台、松阪県民センター、自衛隊などの防災関係機関の協力を得て防災啓発を実施した。

継続的な町単独による防災啓発が必要と考え、今後は自主防災組織を対象に、地域での備えに対する取り組みを実施していく。

また派遣職員の実験談も盛り込んでいきたい。多気町としては、宮城県山元町をはじめ四市町に延べ18名の職員を派遣し、避難所の運営や、支援物資の仕分け、保健師の支援、家屋の調査等をやつてきており、自主防災組織の訓練の中で活用をと考えている。



広域農道勢和多気工区(神坂集落付近)について

答 過去の災害を考慮し、特別な工法を計画している

東山 義美 議員

問 道路新設計では、民家の約40%以上を通る計画の道路であるが、地震や豪雨等の災害想定を考えると住民の生命財産を守るという観点でたいへん心配している。どのような工法の安全補強等対策を採るのか。

答 (建設課長) この広域農道は、当初計画の平成26年完了予定で進めている。現在工事は、平成22年度末で用地の買収は99%、工事施工は66%。事業ベースでは総事業費

答 (町長) 町道は災害が起きた時には、その対応は町長の責任でやらなければならぬ。

私は、昭和46年の神坂の土砂災害の時は災害担当であった。災害現場の土砂排除等復旧に当たった。

法面の工法はベンチカット等いくつかの方法があるので、安全な道路が完成するよう要望していく。

その他の質問
若い人達のために雇用促進住宅を



広域農道工事(神坂付近)長谷方向を望む

温水プールの建設計画がいつ、どのような取り組みで行われたのか

答 現町長の下、限られた予算の中で誰もが利用できる施設として計画したものである

川辺 仁造 議員

問 温水プールの建設計画だが、どこが中心になり、いつ、どのような形で取り組んだのか。

佐奈小学校プールの傷みが激しく使用できないということだが、改修にかかる費用等を具体的に説明したのか。

答 (企画調整課長) 前町長時には、老朽化した多気地域四校のプールを新たに建設する計画であったが、現町長の下、限られた予算の中で子供から高齢者まで、誰もが利用できる施設として、健康づくりの拠点とする方向性を打ち出し、計画したものである。

温水プール構想について教育委員会事務局から、町PTA総会、各小学校PTA役員会等で説明してい

る。
9月16日から10月28日にかけて、各小学校PTA会員を対象に説明会をおこなった。

答 (教育課長) 佐奈小学校のプールは築45年が経過。漏水がひどく毎日の補充が必要。
平成21年に策定した実施計画書に基づき建設に向けて準備を行っていたが、温水プール建設の方針が出された。

説明会では、工事費等の説明は行っていない。



佐奈小学校プール

職員の勤務管理について

答 今後とも勤務時間の適正管理をするとともに、本年度は対前年2%の削減に努めている

中西 敏雄 議員

問

先般役場職員個人を名指した投書が、全議員及び全区長あてに送られてきた。差出人は職員代表と書いてあるが、誰かは不明である。投書の内容は「職員の無能さ・仕事の怠慢・超過勤務手当稼ぎ」等である。私の今回の質問は、名指しをされた職員を



糾弾するものではなく、このような投書は卑劣な手段であり、卑怯なやり方であること、特定職員の超過勤務時間が非常に多いことから、役場全体の勤務時間管理について質問をするものである。税収入が減少する中、いかに無駄を省くかが問われている。人件費は聖域ではない。22年度は超過勤務手当として三千三百万円支払われている。年間超過時間別では最多実績者420時間で400時間台3名、300時間台2名、200時間台17名、100時間台4名となっている。

また本来、超勤命令権者である課長が当日中に処理出来ない業務について、事前に命令することになっているが職員からの事後申告で実績としていると聞く。本来の姿に戻すべきである。

ある課においては、定時に退庁しているが、またある課では常態的に超過をしている。同じ町職員としていかながなものか、相互応援はできないものか。

答

(総務課長)

勤務時間については適正に管理をしている。本年度は対前年度2%の削減を目指している。また相互の応援については、パソコンを使った専門性もあり難しいと思っている。

相可駅北部県道沿い、多気駅周辺の都市計画の進捗状況と水防対策は

答 地区の意見を集約し、協議している段階である

西川 浩 議員

問

相可駅北部県道沿い・多気駅周辺地域の都市計画、地区の計画素案、及び地元同意がどのように進んでいるのか。多気駅周辺については、踏み切り、駅前の渋滞緩和をはかるために県道バイパスの実現が求められているが計画の進捗状況は。

を集約するため、全戸へアンケート調査を実施した。

県道バイパスについては、県も財政が厳しく、用地の提供があれば考慮する。駅前ロータリーについては全員集会を開催したが意見の集約が出来ていない。

冠水対策としての水路整備だが、実現可能な費用対効果の高い事業ということで、国・県と調整している。

答

(建設課長)

平成21年から、自治会、区長を中心に勉強会を開催し、意見



農業者研修制度、研修終了後の町の支援体制と制度の課題

答 生産法人設立のため、可能な限り支援

問

研修後、新たに農業を始めるにあたり、支援体制はどのようなものなのか。農業経営として町はどこまで関与するのか。

研修先として、長野県のトップリバー社しかないが、その点をどう思われるか。

答

(産業環境課長)

農地の集約、販路の仲介、資金調達など、行政で可能な限り支援を行う。

答

(町長)

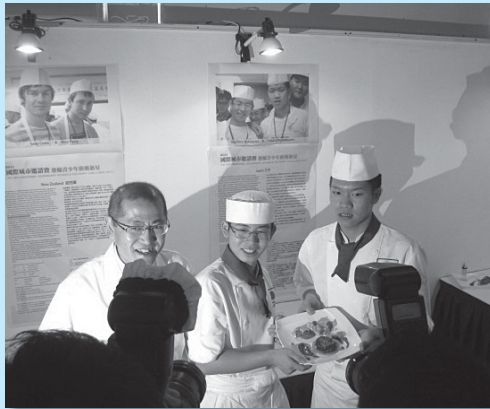
生産法人立ち上げまで支援していく。研修先はトップリバーに限らない。

果樹や畜産などもあり、多くのところでインターシップ制度もあるので良い所へ研修に行ってもらいたい。

視 察 報 告

高校生国際料理コンクールの 舞台を多気町に！

議長 西川 清嗣



世界8ヶ国の高校生が参加をし、10チームによる高校生料理コンクールが、9月22日台湾・台北市・開平調理学校で開催され、相可高校食物調理科の生徒が出場しました。過去、2度の金賞を受賞した実績があります。

今回台湾大会に参加し、見事金賞を受賞し、3年連続の快挙となりました。

この大会を平成25年に多気町

に誘致のため、町長、三重県教育委員会、町内企業、保護者一行と応援に行き、主催国オーストラリア調理組合に開催要望を行いました。

施設、設備等の状況を説明し、多気町も三重県の協力を得て町ぐるみで応援することを、当局側に強く訴えました。主催者側も又熱心に話を聞いてくれ、前向きに検討することとなりました。

国際料理コンクールの舞台が多気町での思いを現実にするよう、町ぐるみで応援していきたいと思っております。



紀宝町災害現地視察報告

今回紀伊半島を襲った台風12号は、記録的な豪雨で期間降水量は1600ミリを超え、大災害を受けた紀宝町を議会全員で現地視察させていただいた。当日役場にて義援金10万円を西川議長から矢熊議長にお渡ししたあと、議会や役場の方々にお世話になり現地を案内していただいた。

現地は甚大な被害で、見るも無残な状況は想像をはるかに超えていた。特に熊野川の浅里地区は浸水のほか土石崩落もあり、50世帯のうち13世帯が全壊し、道路の寸断で連絡もとれず、公民館も浸水したとの話で、避難所の指定には十分な安全確保が必要と感じた。

また、鮎田水門では考えられないような水量が相野谷川と熊野川合流地点で発生し、水門を飲み込む大洪水で家屋への浸水が226棟にもなり、防災広報無線も水没し機能しなかったとのこと、設置場所等にも配慮が必要と感じた。

また、相野谷川流域の高岡地区・

大里地区では、輪中堤防をはるかに超える水量で過去の最大の浸水地点より3m以上高く、遊水地としての田畑が全て水没し家屋も含め大被害となった状況を案内していただいた。また、紀宝町では自主防災組織活動が機能し多くの方が助かったとの話であったが、1名の死者と行方不明者1名があり心よりお悔やみ申し上げます。

最後に忘れかけている伊勢湾台風から50年が過ぎ当時を知る町民も少なくなっている。櫛田川上流域に今回の紀宝町以上の雨量を想定しての土石流・洪水など対策が必要である。

特に自主防災組織の強化と未設置地区の対策が喫緊の課題であり、地域住民、消防団、役場が速やかに連携できる訓練が今後とも必要である。

この視察を通じ紀宝町議会また役場の皆様に大変お世話をおかけした。今後とも大変だと思いが、一日も早い復旧・復興をお祈りしたい。

議会のうぶき



8月 August

- 19日 議会運営委員会
- 19日 全員協議会
- 30日 議会運営委員会
- 31日 松阪地区広域消防組合議会
- 31日 松阪地区広域衛生組合議会

9月 September

- 1 第2回臨時会
- 1 総務産業土木常任委員会
- 7 香肌奥伊勢資源化広域連合議会
- 11 多気町防災訓練
- 16 議会運営委員会
- 21～23 議長台湾コンクール視察
- 27～10.6 第3回定例会

10月 October

- 8 多気町敬老会
- 12 松阪飯多農業共済事務組合議会
- 13 多気町松阪市学校組合議会
- 13 多気学校給食センター管理組合議会
- 16 文化団体等芸能発表会
- 21 多気町議会紀宝町現地視察

11月 November

- 1日 多気町肉牛共進会
- 7日 県議長会理事会
- 8日 議会広報特別委員会
- 11日 県部長との意見交換会
- 14日 自治体議員研修会
- 16日 第55回町村議会議長会全国大会 (NHKホール)

たすの風

TPPへの参加の賛否が社会をにぎわせている。

松尾芭蕉の言葉に「不易流行」がある。不易とは絶対に変えてはならないものであり、流行とは変えていかなければならないことである。今、日本の農業はTPPにより大きな岐路に立つことになる。農業は旧来より長年にわたり保護されてきた。これは農家を護ることではなく、農地・水・環境を護るためのものであり今後も不易でなくてはならない。それが日本の国土を護ることになる。また農業技術の革新により随分変化を遂げてきた。今後も流行していきだろう。これからのTPPの行方を見守りたい。

(T.N)

次回定例会の予定

《開催日時》

平成23年第4回定例会
12月13日(火)午前9時から(予定)

《開催場所》

庁舎2階 本会議場

一日目の町長の提案理由説明までと、一般質問の様子は多気町行政チャンネルで生放送します。また一般質問は録画放送もします。

放送日時等は、決まり次第行政チャンネルでお知らせします。

「議会だより」第22号(9月1日発行)の訂正とお詫び

「議会だより」第22号中、「こんなことが決まりました」の補正予算額の数字が間違っていましたので、訂正しお詫びいたします。

1 一般会計補正後の総額

(誤)75億8,332万2千円 (正)67億5,833万2千円

2「平成23年度会計 補正予算」の表を、下記のとおり訂正します。

(赤字部分)

	補正	議決結果	予算総額
一般会計	1億4,061万2千円	全員賛成	67億5,833万2千円
水道事業会計	9,443万6千円 (収入のみ)	全員賛成	8億4,986万1千円 収入のみなので当初予算総額に変更はありません
下水道事業会計	51万7千円	全員賛成	11億710万円